

聴覚障害ってどんなもの？

11月8日（金）に、2年福祉コースは、聴覚総合支援学校の先生に来ていただき、聴覚障害や補聴器について学びました。

聴覚障害には、外耳から中耳の間で音振動の伝わりが障害される「伝音性難聴」、内耳からご迷路の間で音を感じる神経が障害される「感音性難聴」、これら2つを合わせた「混合性難聴」があると教えていただきました。



<感想>

- ・補聴器から聞こえる音が、機械音のような音であり、周りの音（足音などの雑音）がとても大きく聞こえることにとても驚いた。大勢の人が話していたらとても騒がしいのだと気づき、静かにしてから話すということがどれほど大切かを知ることができた。
- ・コミュニケーションをする際に、一番大切なことは伝えたいという気持ちだと教わりました。今後、聴覚障害者の人と関わる際には、筆談や読話など自分ができる手段を使って、関わっていきたいと思います。